

宮城県で豚熱（CSF）の発生を確認（76例目）

令和3年12月25日、宮城県の養豚農場において、豚熱（CSF）の患畜が確認されました。

養豚農家、畜産関係者の皆様方におかれましては、引き続き、ウイルス侵入防止のため、特に下記に注意して飼養衛生管理基準の遵守を徹底するとともに、CSFの特定症状を示す異状豚を見つけた場合には、直ちに当所へ通報ください。

【農場概要】

発生例	発生場所	発生日	飼養状況
76例目	宮城県丸森町	12月25日	約7,000頭
疫学関連農場	岩手県（1農場）、宮城県（1農場）、山形県（2農場）、茨城県（6農場）、栃木県（2農場）、群馬県（2農場）、埼玉県（2農場）、千葉県（6農場）、神奈川県（1農場）、静岡県（2農場）、愛知県（1農場）※		

※ これらの農場で飼養する豚のうち、発生農場から移動した豚や、発生農場の豚から採取された精液を用いて人工授精を行った豚などの疑似患畜（合計約900頭）については殺処分が行われます。なお、疑似患畜の所在県ではいずれも豚熱ワクチンの接種が行われています。

- 農場出入口等での車両や靴底消毒の徹底
- 野生動物の侵入防止対策の強化
- 農場立入者の記録の徹底
- 食品残さ等を原材料とする飼料の加熱等適切処理
- 複数頭の豚で、発熱、死亡等の異状豚をみつけた場合の家畜保健衛生所への早期通報

県南家畜保健衛生所 TEL0957-68-1177
※土日祝日の休庁日も繋がります。

【家保ホームページ】

<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/shigoto-sangyo/nogyo/kennanshippei/csf/>

